

【令和6年第5回相馬方部衛生組合議会定例会管理者挨拶】

■各施設の放射能測定値の状況について

○光陽クリーンセンターで発生する排出灰について

12月10日測定の結果、主灰が24ベクレル、飛灰が500ベクレルでした。

○有害鳥獣焼却場で発生する排出灰について

12月11日測定の結果、主灰が1,012ベクレル、飛灰が29,330ベクレルでした。

○衛生センターで生産している肥料について

12月9日測定の結果、85ベクレルであり、国が肥料の流通可能な基準としている400ベクレルを連続して下回っております。

■各施設の運転及び管理状況について

○光陽クリーンセンター改修工事について

本年9月から休炉を伴う大規模改修工事については、11月末に竣工検査を行い、12月からは、従来どおり一般廃棄物の受け入れを再開しております。

○有害鳥獣焼却場について

本年4月からの処理状況については、12月20日現在で、266頭のイノシシの搬入があり、随時、焼却処分しております。

○衛生センター、一里壇斎苑、松川浦環境公園について

定期的な保守点検作業と計画的な整備を実施するなど、各施設とも正常運転に心がけ、順調に推移いたしております。

■病院事業について

○本年11月末日までの受診状況について

入院患者は、延べ24,414人で、前年と比較して224人、率で0.9%減少しております。外来患者は、延べ62,625人で、前年と比較して839人、率で1.4%増加しております。

○令和6年度 初期臨床研修医師の募集状況について

平成24年に基幹型臨床研修病院の指定を受け、これまで22名の初期臨床研修医師を受入れてまいりました。

来年度の研修医の受入れにつきましては、募集定員3名の受入れに向けて、福島県や各大学などが主催する 病院説明会に積極的に参加し、様々な募集活動に取り組んでまいりました。その結果、去る10月24日に公表された「医師臨床研修マッチング協議会」の最終組み合わせで、3名の研修医受入れが決定いたしました。

初期臨床研修期間の2年間ではありませんが、当院の常勤医師として、職務を担っていただくことに期待するものであります。

○院内発熱外来者 及び夜間休日の発熱患者数について

令和6年9月は、511人、うち、コロナ陽性者58人、インフルエンザ陽性者おりませんでした。

令和6年10月は、369人、うち、コロナ陽性者42人、インフルエンザ陽性者1人。

令和6年11月は、387人、うち、コロナ陽性者43人、インフルエンザ陽性者3人。

発熱患者におけるコロナ陽性者数については、毎月40人程度で推移しております。12月は、20日現在で、297人、うち、コロナ陽性者31人、インフルエンザ陽性者33人で、発熱患者におけるインフルエンザ陽性者が増加しております。

公立相馬総合病院といたしましては、高齢者や感染リスクの高い入院患者が多いことから、外来患者や訪問者を含め、病院内に立ち入るすべての方に対し、引き続き、マスクの着用と面会制限をお願いしているところです。